

ヴァンパイアガール

VAMPIRE
GALS



成年向け



■はじめましての方はじめまして。そうぞ無敵等オ、ス!最近どうもこの「オ、ス」という挨拶に若干の抵抗を感じる様な気がする。グハ魔神です。「そうぞ無敵等の呆れ顔が見えるぞ!」こいつは一体いつまで小汚い手書き文字を自分達に読ませ続けるつもりなげだろうか...といった感じの呆れ顔が!!... だがここで少し言い訳をさせて頂きたい。

状況 ぎりぎりのスケジュールで作業をせざるを得ない様な限界に挑戦するが如くサボり続ける俺ですが、今回はなんと!若干の時間的余裕があたりする上に、新しく導入したペイントソフト「CLIP STUDIO PAINT」まであるのだ。これだけ好条件が揃っているにも拘らず相も変わらず小汚い手書き文字を書き続けるのには理由がある。この(下手クソな)手書き文字も、グハ魔神以上のひとつだ、といった、ありがたい御感想も決して少なくないのだ。若干の力にさける気がしなくもないが、ここは素直に受け取って...あいや、ここは誠に、実際にやってみるのもいいかな?では、まあ大体こんな感じになるのだが、なんつーか文字間の開き方がちょっと気になるけど、圧倒的に綺麗ではある。が、やっぱり自分でも違和感を感じるかな。みんなの言う事が解った様な気がします。あー、もう!! やめやめ!!みんなの言った事が正しいよ!!違和感がイヤだよ!!もうしばらくは手書きで頑張ってみるか、とか言ってる場合じゃないか。

た!!封印だ封印。こういった形態で本を作る限りにおいては、活字は封印する事をここに誓おう!!...あー、えと...なんだ、お、そうぞ、まだまだ何も語ってないか、たんだ。では、今回の本は、まあ見ての通りのヴァンパイアシリーズの本...と単純に言っちゃってもいい物か...確かにヴァンパイアシリーズの女性キャラクターの絵ばかりだから分類上は「ヴァンパイア本」と言えて差支えは無いのだけれど、今回、その絵に添えられる駄文は、恐らくその殆どが、ヴァンパイアとはあまり関係の無い、まあ、その...何だ、俺の性癖みたいなものになる予定だからなのだが...さて、では...って、今この段階ではまだタイトルすら決まっていますせんが、始まるヨ!!長文駄文な上に小汚い手書き文字ではありますが、最後まで読んで頂ければ幸いです。

■表紙を開いたら同じキャラが同じ向きで同じ様なポーズなのは、こういしたイラスト主体の本としてどうかとは思うけど、しかもあちはおっぱい丸出しなのに、こちらは乳輪すら無し。何だかもう損してる感すらあるのではないかと、少し待って頂きたい。イラスト系SNS PIXIVで俺を知らない方は置いてけぶりになてしまい申し訳無いのだが、俺は過去、件のPIXIVに「輪ちうの素晴らしさについて長々と語ったイラスト&駄文を投稿し、自分には勿体無い程の評価とそれについての同意見を頂く事が出来た。ここで簡単に説明すると、「丸見えの物より、ちょっとだけ見えている物の方がエロい」という事なのだが、そこで語る事が出来なかった重要な、そして俺の大好きなワードとして、「見えそうで見えない」というのがある。これについては普通なら「見えそう」の部分が重視されがちだが...って、もう殆どスペースが無え!

あいつがだらだらと長過ぎたか!!ま、いいい、とにかくこれだけは言っておく。「見えない」の部分こそ重要なのだよ!!

■いつも「もうるせーよ」と言われる程に「モリガ」実は処女説を唱え続け若干ウザがられる俺ですが、ここで勘違いされるのは決して「処女が好き」という訳ではない。という事だ。ネットに繋がっていわゆる「処女厨」と言われる存在が少なからず居るという事を知ったのだが、どうも一部で俺もその「処女厨」の一人だと思われている。ほいのだ。違うから!!俺の場合は、もう本当に

ふちけてしまふ。モリガが物理的に処女かどうかなんぞどうでもいい事なのだ。どこぞで見たもセクス大好きで感じ

のするお姉さん系のキ、ウカ-夜の女王とまで呼ばれているキ、ババであるという設定と世間での認識があつてこそ、そして「ヴァンパイア」があくまで一般向けの格闘ゲームである限り、俺の叫び続けている「モリガ」こそは処女説はそのギャップの鮮烈さを失う事は無いのだ。そう。重要なのは「キ」なのだよ。

アッ
アッ



■エロ漫画のセリフの描写に欠かせない物として擬音がある。擬音という字は画数も多く面倒なところではカウゴドエロカトの頭文字を取ってSEと表記しようとして、そのSEなのだ。時として絵そのものよりもエロ感してしまう事も少なくない。そしてここ最近俺が妙に気に入っているのがこのP-p-pと最も大きく描く(やはりSEは書より描く表記が良い)かかれている「P-p-p」だ。正直に申し上げよう。最初、エロ漫画がこのSEを見た時、もういつの頃かは忘れてしまふ程に昔の事だがこの「P-p-p」が一体何を表現しているSEなのか解らなかつたのだ。セリフのほうも「又々」とか「ズム」とかそういう水っぽい音がするものだと考えていた俺にはよくわからぬけど何か間抜けな感じだ。と思えてなかつた。やがて真実を知る時が来ても間抜けを感じる事には変わらない。それが一変してむしろ興奮する様になったのは、恐らく自分自身が強姦モノが大好きだと強く意識したからでは無いだろうか。一切に女性を気遣う事無く、己の欲望と腹の肉を相手の尻に打ち付ける。そういう原始の獣の如き力強さと狩猛さ。この半濁音混じりの一見間抜けにも程々だがぬるいSEより感じて頂ければ幸いであらう。何言てんだ俺は。

あ...
だ...あ

あ...
あ

あ

P-p-p

P-p-p

P-p-p

あ

あ

■ ヴァンパイアで何かしら本を作ろうという時に避けて通れないのが
…いやいややなんも避ける必要なんてありませんよ？良いです
ね。リリス。大好きですとも。ただやばおはいの小さいキョウは描くのが難しい
んですよ。巨大な球体を描く事によって何とか誤魔化していた部分が丸裸
になってしまうのは、俺みたいになすけこの子の字もなまらぬい様な輩に
は、半ば拷問の様な物。ほらまたこうやで片手で片方の胸を隠して
ほんの少だけでも何とか誤魔化そうとする……最低だね!!

■ で、普段から強姦モノ好き、巨乳大好きと公言して止まぬ
俺としては、自ら男に跨りて腰を振るおはいの小さい娘さんて
のは、本来ならば軽〜くスルーといった所なのだが、ここ最近、妙
に気に入ってしまった表現技法があり、思い切らやめてみた。
こんペと先生が好んでよく使われる「瞳孔の真ん中に
小さく心を描く」という物なのだが、初めて見
た時の衝撃たるや相当なものだ。たと
記憶している。ある意味
失礼な事だが、俺の性癖
上、己の愚息がお、勃つ事は
なかった。が、その余りにま

コケテっしょさ
にズキーンとき
たの性、まさに
俺の目が心
って奴だ。
こんな可愛い
表現があった
とは……

■ 乙ま、自分の絵で
やってみるとだね……
何だろうね、このバグ臭
さは、この表現が持っている
バズりコケテっしょさや破壊力
みたいなものが微塵も感じられん
ぞ…？やば了しか!!絵そのもの
が原因なのか!!EXP
不足なのか!?

寺島

西

西

寺島



■俺のちよと苦手なエロジャンルとして「身体に落書き」があります「女の子に呑み事をする」という点から見れば強姦モノ好きには何かしら通ずる物があるのでは?と思う方もいるだろうが答えは「だ」。少し説明をさせて頂くと俺が考える所の「エロさ」とは「可愛さと下品さのバランス」だ。可愛さを美しさと置き換えてもいいだろう。この下品さとのバランスが個々人の性癖の差異なのではないだろうかと考える。よって、これから書く事は決して身体に落書き好きの方を否定する内容ではないので勘違いなさらぬ様をお願いしたい。で、ま、前置きが長くなっちゃったけど、簡単に言、ちまえば「身体に落書き」は俺にとて下品過ぎるのだ。あくまでも「俺にとて、だからね、何だか随分と言ひ訳臭い言ひ回したなど自分でも思うけど、他に上手く説明する方法も思い浮かばないので今回はこれで勘弁して頂きたい。

■で、本題に入る訳なんだけど今回描いた、この「内股に正の字」、ジャンル的には間違いなく前記した「身体に落書き」のひとついや、それどころか代表格と言、てもいいだろう、あれだけの前置きとておいて今更言うのも丁度ですが、この「内股に正の字」、実は大好物です。今まで散々言、てきた強姦モノ好き、そり、1対1のガチコンレイプだ、て良いけど、やはりここは複数のお共、に群らがる様に犯される輪姦こそ最高に興奮する、てモンでしょう。本当に最低だね!! ぞとそその輪姦の証として、決して望まぬ膣内射精を受けた数だけ無慈悲に引かれた直線の集合体。正1文字につき5度の歡欲をその身に受けたという「残虐さが否が応でもギリギリに視覚に伝、わ、てくる。以上の事から俺にとてこの内股に正の字とは普通に言、られる所の身体に落書き」とは若干授らえ方が違、ているという事がお分、かり頂、けたのでは、ないだろうか。

■本、当、に、最、低、だ、ね!!

■前項から続き視覚に伝わる輪姦(とも限らないが)の跡の種類として「散らばった復讐の使用済みコンドーム」がある。勿論これも大好物だ。セクス大好きな娘が男を喰い散らかした跡とも受け止めてしまうが、やはりここは守姦係で攻めてみたい。コンドームなんか使ってる時点でほんの少しでも女の子を気遣っている感がある様で若干残酷性に欠けるが、まあ他の男の精液の中になんか突込みたくねーよ、的な男側の身勝手さとも捉えられるので問題はないだろう。重要なのはコンドームという何をどう考えてもセクス以外に使い道が無いアイテムの持つ生々しさだ。特に特撮SFXで薄い皮膜等表現として使用されるらしいが、SFXじゃねーんだよ! SEX!セクスなんだっつーの。



■ここまでロクにヴァンパイアのキャラクターの話もせず、只々俺が日々考えている、他愛もないエロ戯言を思い付くままにダラダラと書いてきた訳ですが、そろそろ「表紙詐欺だ!」と言われてもおかしくない頃ではないかと思う。と言う訳で、ちょっとキャラクターについてのお話、とりあえずは前項から続いてレイルについて話そう。いつも「モリガン!モリガン!」が!! ウオォー!!みたいな事は、かなり俺ですがレイルだ、ちゅんと好きです。ただ、ちゅんと好きになるまでに少し時間が掛かっただけ。シリーズ第2段「ヴァンパイアハンター」で待望の3人目の女性キャラクターとして登場した彼女であったが、俺の最初の感想を正直に言わせて頂けば、「おいおいカブコよ、これは無いだろう」といった感じは、むしろ否定的なものだった。当時の俺が感じたレイルのマイナスな印象をざっと書き出していこう。まず「肌が青い」、「ほっぺの赤い丸の化粧が田舎娘を連想させてグサイ」、「髪型が変」、「額におれなんか貼るせいで顔がよく見えない」、「ニュートラルの立ちポーズが首がダラダラして怖い」そして何よりも、それまでのモリガンとコリアのポーズラインが、あまりと判るコスチューム(コリアのをコスチュームと言て良いものかはとりにあえずスレの方向で)に比べるまでもない「ポーズラインを覆い隠すだぶだぶの衣装」、こんな所どころか、これはあくまで当時の俺が「最初に受けた印象」であって、今となっては、散々論じてきた数々のマイナスポイントもその殆どが大逆道の萌えポイントとなっているのだ。特に青系の肌に関して言えば、今ではもう「肌が青い」=「エロい」と脊髄反射レベルで感じる様になしたのは、何を総そうこの娘のおかげだったりする。と、まあここまで俺が結構レイルが好きなんだという事が分って頂けたと思う。が!ひとつ大きな問題が、これは別にレイルに限った事ではないのだが、俺は大抵の場合キャラクターを好きになる時は、そのコスチュームも全部込みで好きになる。それはモリガンとて例外ではなく、たまに別コスチュームに身を包んだりすると少しガカリしてしまったりもするし、もと言てしまえば素裸はもとマズい、モリガンの場合だと全裸の一手前まで肩口の羽飾りを含んだ長手袋さえ残っていてくれれば何とか大丈夫、と言った感じだ。がレイルはこの判定がとて厳しく、は、むしろ言ってしまうとどのパーツにも欠けてほしくないのだ。おれを含むコスチュームの全てがレイルの可愛さであり、エロさであると俺は思う。そんな訳で俺はこれまで本当に只の一度も裸のレイルを描いた事が無かったのだが、良い機会だと考え、今回こうして裸レイルを描いてみた訳だ。まあ身体の方は肌が青いという以外に普通の女の子と何ら変わらないから問題は無い。問題は帽子を取った後の髪型だ。どうなるのか知らないのだ。まあ帽子を取ろうが取らないが、マジングの頭を逆さにした様な襟足と頬の内側に巻いた部の前後関係もよくわからないぞ、その辺も含めて誤魔化しちゃうんだけね!!で、そうして描き上げたのだが、やっぱりレイルに見えない。そこで「ま、これくらいなら」と、ド付腕輪をいやこれは本来春麗の物なんだけど、まあ腕輪を着け、流石に額はマズからうと股に紳士を貼り、少しでも総全体の空間を埋めようと、帽子と天雷破の鉄塊を描いて、うん!これなら誰がどう見てもレイルだ……って……うん、こういう誤魔化しが駄目なんだって事はね、わかる!わかるから!!

■さて、ここで前項で書いた「使用済みコンドーム」について、もう少しだけ話そう。あたりまえの事だけど、知らない物なんてそうそう描けるモンじゃない。散々ばた復讐の使用済みコンドームってコトエーションは、大好きではあるが、かと言って今までそういうイラストを描いた事がないのだ。他人様が描かれたそれ系のイラストを眺め、股間を熱く硬くする事はあっても、なかなか自分で描こう!という気にならなかつた。が今回思い切って描いてみていきなり躓いてしまった。使用済みコンドームをそれほど描けないのだ。他人様の描かれた物を参考にと考えた俺はネットの海より拾い漁った大量のエロ画像を殆どフォルダ分けしておらず、まっせいぜいが「エロい」と「可愛い」くらいしか分類されていない……おと、もうこんな所か……よし、次のページに
 続くよ!!





■さて、じつ前のページの続きを書いていこうかぬ。バレッタの事はもう少し後という事で。で何だ、あ、そうそう、拾い漁ったエロ画像をあんまり分類しないって所からだ。とにかく参考になりそうな画像は、まず間違いなく「エロ」のフォルダに保存されているだろう。だが、その「エロ」フォルダ容量が4GB近くあって、中に保存されている画像枚数は約にして22000枚。この中から特定の画像を探し出すのは多分無理だろう。そう踏んだ俺は、次の手に出る。Google先生の画像検索にお願いすれば、あ、あ、俺の求める画像もポコッと手に入、ちゃうじやん？そう期待して、検索ワード「使用済みコンドーム」を入力して画像検索スタート……

キルヤ——w!! いやいやいやいや! Google先生!! ぞり、確かに、まどう事なき使用済みコンドームだけどもさ!! 写真、じん、っ—かそんなモノをワレワレにUPするなよ!! こんな誰が使った後かわけらん様な物、気色悪くて見て……と、ここで俺の脳に電流が疾走した。誰が使ったかわからないから気色悪いのであつて、誰が使ったかわかる物だたら? そ、それが他ならぬ自分自身としたら? そう考えた次の瞬間俺は決意した。「コンドームを買、てこよう」と。照れも後にもなく、言、てしまえば、俺は生まれてこの方、コンドームを買った事ありません。勿論己の愚息にそれ装着した事ありません。一応、高校生の頃に友人が買ってきた物を1つもら、て見栄でサイコに入れていた事もあつたけど、ゴジラvsキングギドラを観に行った時に映画館でサイコと落ちてそれきり。だから、今回のこれが俺にとつての記念すべき人生初コンドームになる訳だ。本来の用途から大きく逸脱した目的での使用ではあるが、大人の階段を一步登るつもりで、ちよ、といやかなり離れた夜のコンビニで、決して自分単独で使用し、しかも使い終わったそれを見ながら絵を描くなどという目的を店員に悟られぬ様に「あ、そう言えば最近カミさんともご無沙汰だ、たな、ヨッ、明晩あたりにでも久しぶりにハッスルするかな!」みたいな感じを装いつつ無事に購入。急いで家に戻り、さ、そく装着を試みるもなかなか難しいモノだ。ただ、流石はセックスの為のガジェットだ、装着しただけで何だかもう「やるぞ」、て気分は盛り上がってくる。ま、その先の行動は只のオナニなんぞすが、一応は作業も終了し、晴れて念願の使用済みコンドームを入手出来たのだ…が!! ここに思ひぬ落とし穴が! 俺ももう若くはない、この本が完成する頃にはもう38歳、立派なアラフォーである。ぶ、ちよ、け、そんなに出ないんだ、っ—の!! 先、ちよ、の方にほんのちよ、り、エロ漫画的に溢れ出る様な感じ、てのは、これはもう歳とか関係なく、3次元人には無理なのではなからうか。こんなはずじゃなかった…どうしてこんな事に…などといつても項垂れていても始まりません。そこでこうなれば最後の手段と、記憶力と想像力を総動員して描き上げたのが、2ページ前のイラストなんです。結局、今回の一連の行動は、全くの無駄に終わ、ちよ、たけど、ほんの少しだけ大人の気分を味わう事が出来たのは俺にとつて何らかのプラスにな、てくれる事を信じて、この辺りで俺の三十七の夜の最後の小さな冒険は、静かにその幕を降ろした……。

■いや、なんつ—か本当にごめんなさい! まさかこんなに長くなるなんて思、てなかった! おかげでバレッタの事を書くスペースのこの狭さときたら、ま、元々、グンパイアの女性キャラの中では、ぶ、ちよ、りのワーストな感じで、そんなに長々と書く事も無いんだけどね。じ、ま、手短かにいこうか。バレッタの代表的な特徴を挙げよう。「赤ずきんちゃん」・「基本的にロリキャラに分類」・「見可愛らしいが、実はその本性はかなり腹黒い」・「実銃やコンパクト等のミリタリー兵器を使う」ま、大体こんな所だろう。今挙げた4つの特徴、「赤ずきんちゃん」以外、全部俺の苦手ジャンルなんです。これで好きになれ、てのが無茶な話だ。「実は腹黒い」はモリガンの所で語、た「ギャップ」なんだからOKなのでは? と思う方もいるだろうが、答えは—だ。モリガンのギャップから生じるのは可愛さだが、バレッタのギャップから生じるのは面白さだ。しかし、残念な事に、俺の用途はこのギャップを面白とは捉、えてはくれなかつたんだ。只々「あど、とい」と感じるばかり。でも、ここに描いたミッドナイトプラス版は、大逆点で大好きだ、た、りする、やはりお、はい、なのか!!

■ ちょっと前のペイズドハムスル過ぎちゃって本来
 書く予定だった陥没乳首の事を書くスペース
 が足りなくなっちゃったんで、まっ乳首が繋が
 がりという事で、こっちで語ろうと思
 った。入り版ハムスを描
 く時に、スカートをめくり上
 げパンチをずり下ろし、口にコンドームを咥え
 ておっぱいを放り出す、という所まで決めて
 いたのだが、どうもいまいちパンチが足り
 ないと思い、ここは思い切て前々から気にな
 っていた陥没乳首を描いてみようという
 運びと相成った訳だ。陥没乳首が
 好き、といっても大きく2つのタイプに分
 かれる。ひとつは陥没した乳首の跡その
 のものが好きなタイプ、そしてもうひとつは陥没している
 乳首を弄り倒し、ピンピンに動かせる主にラヂエーション
 の過程として好きなタイプだ。俺は基本的には前者
 なのだが、陥没跡に指を突っ込んで中でグワグワする言わ
 ば擬似的なピンポンがマジで大好きなんだけど、最
 最終的に陥没乳首には陥没したままであって欲しいと願う。
 人間の性癖で本当に面倒臭いね……。

■ そうこう言ってる内に本来この項で語るつもりだった事を書
 くスペースがどんどん狭くなってきちゃった！ 乳首の話です。俺
 はまあ勿論巨乳が大好きなんですけど、これまであまり乳首につい
 ては言及してこなかった。今まで俺が主に好んで描い
 ていたのは、まあ表紙とかで描かれている
 感じの乳輪ちょっと大きめの、太く
 短い乳首だ。好きで描い
 てるんだから別に構わ
 んだろうと思っては
 いたのだが、大き
 めの乳輪



はともかく、太く「短い」乳首には前々から疑問を感じてはいた。
 だって、やばおかいじゃん？ エロにおける乳首なんてのはピンピンに動かして
 然るべきじゃん！ 何も異様な程の長乳首を描こう、て訳ではないのさ。ただいつもよりほんの少し、その太さに
 見合、常識的な長さで描くだけの事を、何故、こうもだらだら書いてるのか、と言うとね……なんつーかその……
 ぶっちゃけちょっと恥かしいんですけど、何を今更……って感じたが、何をどう恥かしいが、なんて人それぞれなのさ！

■Q-beeについて少し語ろう。ここ最近、ちょっとした思考的ブレインルーがあ、て前から結構好きだったQ-beeが更に好きになた。Q-beeは「オオヒコトサマババ」という「昆虫」だという事を強く意識したのだ。どうい、う事かと言うと、Q-beeは外見上は人間型と顔と肩から腕にかけ、ては肌色だ。これまでなら、それ以外の部分は何かからツツの様、な物を着ていて、脱げば当然そこには顔や腕と同じ肌色の、裸があるものだと考えていたのだが、ブレインルー後はその、考えを改めた。Q-beeはその外見全てが皮膚であり外骨、格なのであると。ま、要するに全裸って事なんだけど、別に、常時全裸だからエロいと言っている訳じゃないよ。ここで、重要なのはQ-beeのおっぱいの部分が、仮面ライダーの敵、

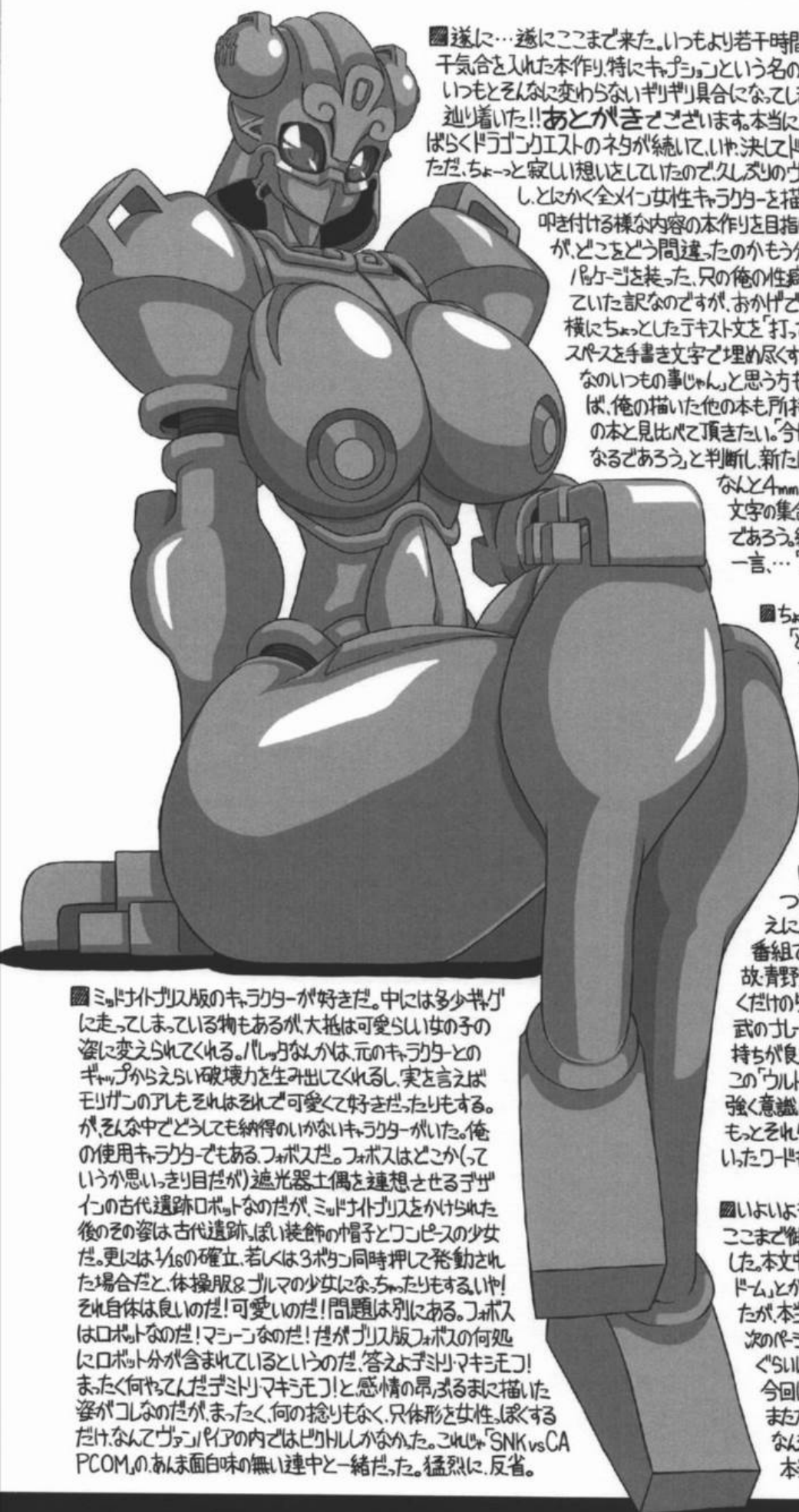
怪人・蜂女から綿々を受け、
継がれる「おっぱい」は、
蜂の腹部を模した綿
→

模様」だという事だ。と、言う事はだ、Q-beeのおっぱいの部分は腹部な、んだよ!!「昆虫」に3つも腹部は、無いと言う方もいるだろうがそこはま、
フコトサマババの事だ。以上の事を、踏まえた上で、オーストラリアに生息、
するミツツボアリというアリをご、存知、だろつか、花等から集めた蜜を、
巣ではなく、自らの腹部に、それこそパン、
め込んでおくという習性を持った、
辺で俺が大抵、何を言いた、
アリはちきりんばかりに貯、
りの一種なのだが、ま、この、
いのがが御察し頂け、
るのではない、
だろつか。

そう!Q-beeの、
おっぱいは、いやと、
胸部部に付いている、
2つの腹部は、ミル、
クワクワならぬハニータンカと、
言ってもいいだろう!中に、
は甘〜い蜂蜜がたづ、
んたづんに詰まっ、
て時折その先、ちよからミ、
ツツと滲み出ち、
た蜂蜜が琥珀色に輝く、
珠を作り、
そしそれを除、ろにちよと頂、
くと、ま、こころにテキス、
を書いて、
だけでもかなり興奮し、
てるな!

■でも本当は実際のミツツボアリ、
みたいにパンパンにはちきりんばかり、
に膨らんで、綿模様の間の引き伸、
ばされた薄い皮膚から中に詰まった琥珀色の、
蜂蜜が透けて見えるそんなおっぱいを描きたかた…。





■遂に…遂にここまで来た。いつもより若干時間的に余裕があるからと、いつもより若干気合を入れた本作り。特にキプジョウという名の長駄文に力を込め過ぎた余りに結局いつもとそんなに変わらないギリギリ具合になってしまっている感否めないが、遂にここまで辿り着いた!!あとがきどうぞ。本当にお疲れ様でした。企画当初は、こゝん所しばらくドラゴンクエストのネタが続いて、いや、決してドラゴンが嫌いだと言ってる訳じゃないよ?ただ、ちょっと寂しい想いをしていたので、久しぶりのヴァンパイア本だ。こゝんは、一丁気合を入れ直し、とにかく全メロ女性キャラクターを描き、その魅力とそれに対する想いの文を叩き付ける様な内容の本作りを目指して表紙を描き上げ、本文に挑んだはずが、どこをどう間違えたのかも分かる筈もなく、気付けばヴァンパイアのページを装った、只の俺の性癖を暴露するだけの内容の本に成り下がっていた訳なのですが、おかげでおかしく方向に熱が入り、最初は絵の横にちょっとしたテキスト文を「打て、添える予定だったのが、絵以外の空きスペースを手書き文字で埋め尽くすといった異様な本になってしまった。『そんなのいつもの事じゃん』と思う方もいるだろうが、『いつもの』という事であれば、俺の描いた他の本も所持して下さると捉え、是非一度、今回の本と見比べて頂きたい。今回はいつもより語るに悩む事が多くなるであろうと判断し、新たに細く造り起こした文章スタイルの幅はなんと4mm。このスタイルに合わせて細かく書かれた文字の集合体の異様さは、見比べて頂ければ明瞭であろう。結局何が言いたいのかって言うとなら、只々一言…『馬鹿が俺は』。

■ちょっと話題を変えて、少し前の事になるが「どうしてお前の書く文章はちょっと偉そうな博士みたいな話し口調なんだ、頭悪いのに、そう友人に言われた事がある。意識してはいなかったが、そう言われて読み返してみると確かにそうだ。一人称こそ俺を貫いてはいるが『～』と言えるだろうとか『～』なのではないだろうか?とか、普段俺がまず使わないであろう言い回しが頻繁に出てくるのではないかと、これはどういふ事なのか別に仁子に気取っているつもりもないし…と、少し考えてすぐに答えに思い当たった。昔、俺の大好きだったTV番組で『ウルトラ怪獣大百科』というのがありまして、故青野武氏がその名調子で怪獣を紹介していくだけの5分にも満たない番組なのだが、この青野武の『レポ』の語り口調がとにかく聞いていて気持ちが良いのだ。恐らくは、いや間違いなく、俺はこの『ウルトラ怪獣大百科』の『レポ』を無意識下で強く意識していたのだろう。それならそれで、次からはもっとそれらしく、『類縁』とか『白屋』とかそういったワードも積極的に取り入れていくとしよう。

■いよいよもって本当に最後が近づいてきました。ここまで御付き合い頂いて、本当にありがとうございました。本文中で『強姦モノ』が大好き、とか、『人生初のJDM』とか散々恥かしい事を書き散らかしてききましたが、本当の本当に最も恥かしいと考える想いを、次のページ奥付に描きました。何考えてんだこいつ、ぐらいいって頂ければ、これ幸い。という訳で今回はこの辺でペンチを置くとして、…って!また大事なことを言い忘れた!!この度は、俺なんぞの本を手に取り、こゝん所まで読んで頂き本当にありがとうございました!また会う日まで
シーユー▼

■ミッドナイト版のキャラクターが好きだ。中には多少弊がに走ってしまっている物もあるが大抵は可愛い女の子の姿に変えられてくれる。バッドなものは元のキャラクターとのギャップからえらい破壊力を生み出してくれるし、実を言えばモリガンのアムもそれはそれで可愛くて好きだったりもする。が、そんな中でどうしても納得のいかないキャラクターがいた。俺の使用キャラクターでもある、フォボスだ。フォボスはどこか(っていか思いきり目だが)遮光器土偶を連想させるデザインの古代遺跡ロボットなのだが、ミッドナイト版をかけた後のその姿は古代遺跡、ほい装飾の帽子とワンピースの少女だ。更には1/6の確立、若しくは3ボタン同時押しで発動された場合だと、体操服&ブルマの少女になっちゃたりもする。いや!それ自体は良いのだ!可愛いのだ!問題は別にある。フォボスはロボットなのだ!マシーンなのだ!だが、プリズ版フォボスの何処かにロボット分が含まれているというのだ。答えよ子、ミッドナイト!またく何やてんだデミッドナイト!と感情の昂ぶるまでに描いた姿がコシなのだが、まったく、何の捻りもなく、只体形を女性にぼくするだけなんてヴァンパイアの内ではピリッしかなかった。これってSNK vs CAPCOMのあま面白味の無い連中と一緒に結んだ。猛烈に、反省。



I will change you into the ugliest figure...
 「MIDNIGHT BLISS!!」



ポッポッポッポッ...

奥付
うんざり!!
 発行 NNZ団
 著 グレ+魔神
 印刷 コピニコピ-!
 2012.08.12 コミカマケト82



あ...あ...うんざり...

うんざり...うんざり...うんざり...
 ち...違...から...!!



